



果樹カメムシ類が異例の発生状況です

令和6年度注意報第1号(令和6年5月23日付け)を公表していますが、6月下旬以降、県内全域でトラップへの誘殺が過去10年に例の無い急な増加が見られるため、引き続き注意が必要な状況です。園内外をこまめに見回り、早期発見に努めるとともに、飛来が確認された場合には、速やかに薬剤による防除を実施してください。

1 発生状況

(1) 【累積誘殺数（チャバネアオカメムシ）】

県内7地点に設置しているチャバネアオカメムシ集合フェロモントラップの各地点の累積誘殺数（5月第1半旬から7月第1・2半旬）は、5地点において過去10年で最も多くなっています（表1）。

(2) 【期間誘殺数（チャバネアオカメムシ）】

チャバネアオカメムシ集合フェロモントラップの半旬（5日間）毎の誘殺数は、7月第1半旬の調査で注意報発表年平均（注意報を発表した平成26、令和2、4年の平均値）の28.6倍（庄原市高野町）、7.7倍（庄原市東城町）、2.3倍（世羅郡世羅町）、38.4倍（尾道市瀬戸田町）、11.1倍（呉市蒲刈町）となっています（図1）。



1日で344頭を誘殺
（庄原市高野町：7月8日）

(3) 【被害果率（なし）】

7月上旬に世羅郡世羅町において、なしの被害果調査を行いました。被害果率は2.1%で、過去10年の平均（0.1%）の21倍となっています（表2、図2）。

(4) 【予察灯誘殺数（ツヤアオカメムシ）】

安浦町の予察灯において、ツヤアオカメムシの誘殺数を調査しました。累計誘殺数（5月第1半旬から7月第1半旬）は76頭で、過去10年の平均（8.2頭）の9.2倍となっています。（表3、図3）。

2 今後の予想 多

3 防除上の注意事項

(1) 果樹カメムシ類（図4）は移動性が高く、飛来は園地間差が大きいため、夕方または早朝には場周辺も含めて巡回し、ほ場への飛来が認められたら早急に防除してください。

なお、果樹カメムシ類は夜行性であるため、薬剤防除の時間帯としては、夕方が最も効果的です。

- (2) 果樹カメムシ類の加害(図5および6)は長期間に及ぶため、継続してほ場の観察に努め、防除実施後も園地への飛来が認められる場合には、追加の防除を実施してください。
- (3) 袋をかけても、果実が肥大して果実袋に密着すると、袋の上から吸汁されることがあるので注意してください。
- (4) 合成ピレスロイド系の農薬は天敵への影響が大きいいため、連用するとハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなるので注意してください。
- (5) 薬剤散布については、農薬使用基準(使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数等)を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底してください。
- (6) なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム(<https://pesticide.maff.go.jp/>)」を参照してください。

4 関連データ

表1 チャバネアオカメムシの集合フェロモントラップ調査への累積誘殺数(5月第1半旬～)

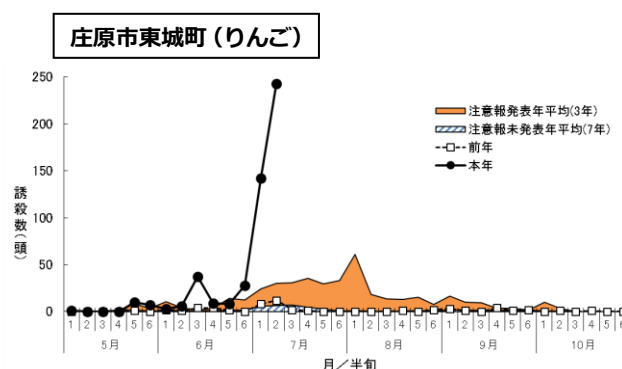
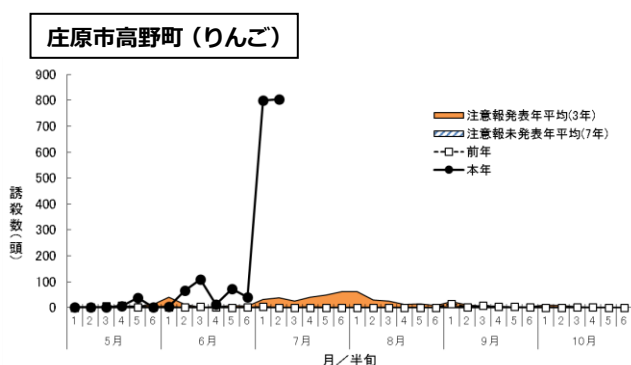
設置地点	チャバネアオカメムシ累積誘殺数(頭)				
	本年	現況	平年※1	多発年※2	多発年以外※3
庄原市高野町(～7月第2半旬)	1957.0	多	61.5	142.7	26.8
庄原市東城町(～7月第2半旬)	494.0	多	45.2	94.1	24.3
世羅郡世羅町(～7月第1半旬)	364.4	多	155.0	273.1	130.1
東広島市安芸津町(～7月第1半旬)	711.4	やや多	303.5	511.1	214.6
福山市神辺町(～7月第2半旬)	323.0	やや多	127.4	226.7	84.8
尾道市瀬戸田町※4(～7月第1半旬)	181.3	多	24.1	18.9	25.6
呉市蒲刈町※4(～7月第1半旬)	561.0	多	30.6	103.3	9.8

※1 各調査地点の平年とは、過去10年の平均を示す

※2 多発年とは、注意報を発表した年(平成26、令和2、4年)の平均値を示す

※3 多発年以外とは、平成26年以降で、平成26、令和2、4年を除いた年の平均値を示す

※4 蒲刈、瀬戸田の2地点については、平成27年からの調査開始のため、過去9年の平均とする。



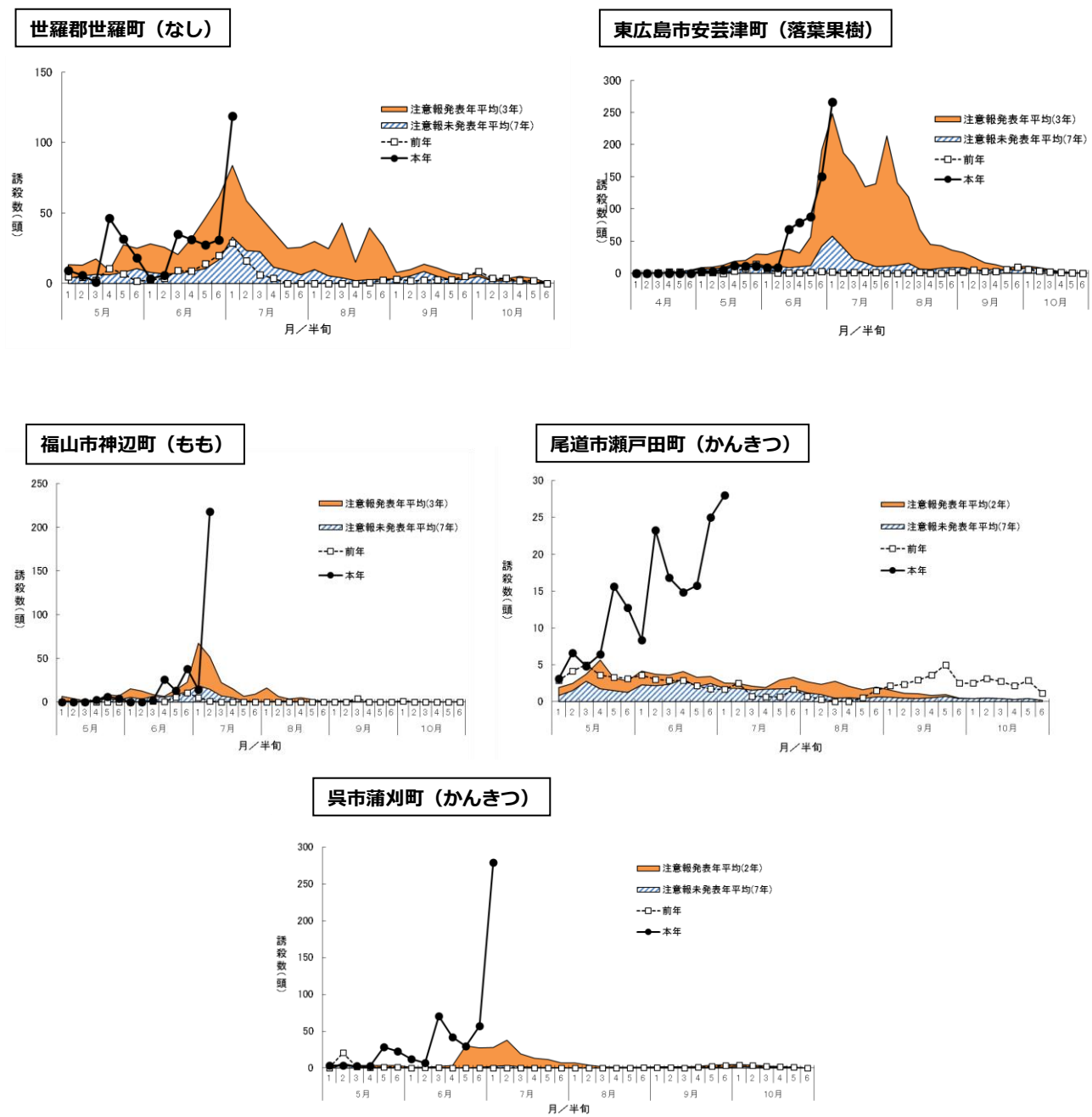


図1 チャバネアオアカメムシ誘殺数の推移

表2 なし被害果率(世羅郡世羅町)

被害果率(%)	
本年	平年(10年)
2.1	0.1

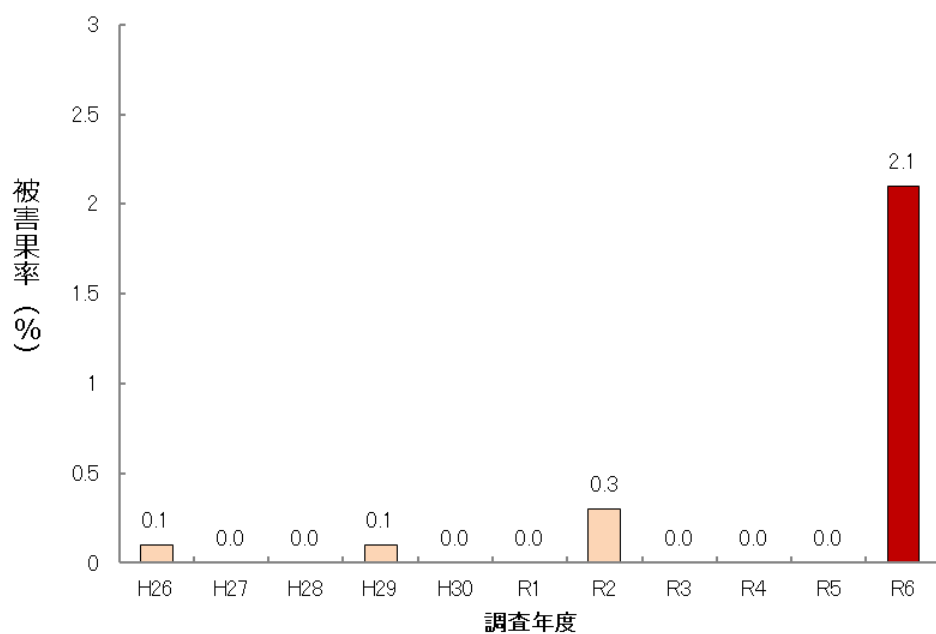


図2 なし被害果率の年次推移

表3 ツヤアオカメムシ累積誘殺数（5月第1半旬から7月第1半旬）

累積誘殺数(頭)	
本年	平年(10年)
76	8.2

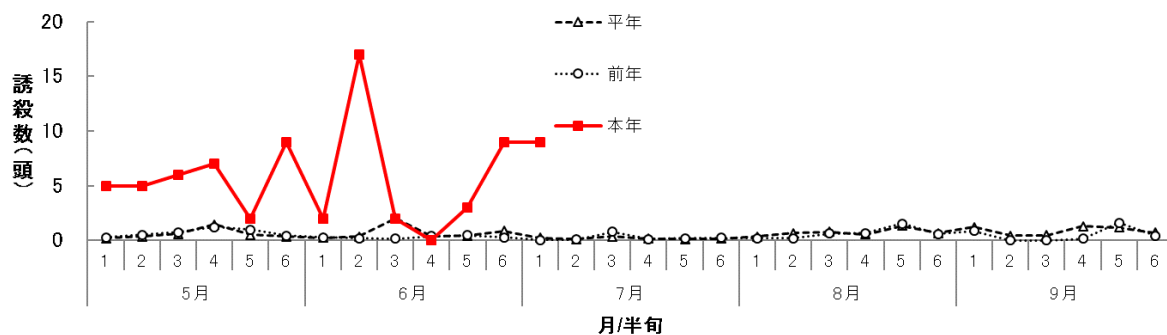


図3 ツヤアオカメムシ誘殺数の推移



図4 果樹カメムシ類（左からチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）



図5 果樹カメムシ類による被害果（なし）



図6 果樹カメムシ類による被害果断面（なし）

この情報は、広島県公式ホームページ「ひろしま病害虫情報」に掲載しています。

掲載アドレス (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)



【お問い合わせ先】

- 農業技術課（082-513-3559）
- 西部農業技術指導所（082-420-9662）
- 県立総合技術研究所農業技術センター果樹研究部（0846-45-1225）